

## 令和4年度美馬市総合教育会議 会議録

1 日 時 令和5年2月24日（金） 午後1時25分から午後2時20分まで

2 場 所 美馬市役所南館 3階306会議室

3 出席者 美馬市長 加美 一成  
(構成員) (教育委員会)  
教育長 村岡 直美  
  
教育長職務代理者 上田 加代  
委員 近藤 陽子  
委員 眞鍋 昇司  
委員 河合 純治

(構成員以外の出席者)

園木副教育長  
藤田地域学習推進課長  
小倉教育総務課長  
藤山教育指導監  
鉄野脇町幼稚園長  
片山教育総務課課長補佐  
吉田企画総務部長  
吉本総務課長(事務局長)  
柳井総務課長補佐(事務局)

4 欠席者 なし

5 傍聴者 なし

6 日 程 開 会  
市長あいさつ  
議題  
(1) 令和4年度教育委員会所管の主要事業の実施状況について  
(2) 教育費の令和5年度当初予算(案)について  
(3) その他の件について  
閉 会

吉田企画総務部長

企画総務部長の吉田でございます。  
ただいまより令和4年度美馬市総合教育会議を始めさせていただきます。  
それでは、開会にあたりまして、加美市長よりご挨拶を申し上げます。

加美市長

本日は、令和4年度美馬市総合教育会議を開催いたしましたところ、委員の皆様には、ご多忙のところにも関わりませず、ご出席を頂き、誠にありがとうございます。

また、皆様方には、日頃から、市政各般、とりわけ、教育行政の推進に、ご尽力を賜っておりますことに対しましても、この場をお借りして厚く、お礼を申し上げます。

さて、今週21日に開会した、美馬市議会3月定例会、冒頭の挨拶でも申し上げましたが、令和5年度における市政の推進方針において、教育環境の充実を掲げております。

この方針のもとに、学校教育の充実はもとより、子どもたちが、本物の芸術に直接触れる機会をつくるなど、美馬市ならではの特色ある教育を展開してまいりたいと考えております。

加美市長

また、中学校の部活動につきましては、まずは、地域移行を円滑に進めるため、新たに地域移行推進監や部活動統括指導者を配置することとしておりますが、更なる支援につきましても、検討が必要であります。子どもたちに、適切な部活動の機会を提供できるよう、しっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

一方、脇町・小星地区に整備中の学校給食センターにつきましては、7月末の完成に向け、順調に工事が進んでおりますが、9月からの供用開始に向けまして、安全・安心で、おいしい給食を提供できるよう、着実に準備を進めてまいりたいと考えております。

なお、令和5年度の学校教育関係予算では、各種検定、受験料、助成事業として、これまでの漢字検定の受験料助成に加え、英語検定の助成対象を、中学生全体に拡大することと致しております。

また、引き続き、ICTを活用して、保護者との連絡ツールや、子どもたちの家庭学習用の教材ソフトを運用するとともに、新たに、家庭においても、学校と通信可能な学習支援ソフトを導入することと致しております。

また、社会教育関係では、国指定史跡郡里廃寺跡の公園整備について、基本計画に基づき、引き続き、実施設計を進めるとともに、工事につきましても、出来るだけ早く着手できるよう、関係予算を計上しております。こうした教育関係予算の内容等については、この後、詳しく説明があると思っておりますが、委員の皆様には、様々な方面から、忌憚のない、ご意見を賜りますようお願い申し上げます、開会にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。

吉田企画総務部長

ありがとうございました。それでは、議題の方に移らせていただきます。議事の進行につきましては、美馬市総合教育会議設置要綱第4条の規定によりまして、加美市長にお願いいたします。

議長  
(加美市長)

それでは、これより、私の方で進行をさせていただきますので、よろしく願い致します。まず、議題(1)の令和4年度教育委員会所管の主要事業の実施状況について、事務局から説明をしてください。

事務局長  
(吉本総務課長)

議題(1)の令和4年度教育委員会所管の主要事業の実施状況について、それぞれ担当課から、説明させていただきます。  
まず、教育総務課、続いて地域学習推進課から、本年度実施いたしました、主な事業の概要について説明させていただきます。

小倉教育総務課長

それでは、まず、教育総務課所管分について説明させていただきます。

令和4年度総合教育会議資料の1の1ページをお願いいたします。

始めに教育のICT化に向けた環境整備事業でございます。

1. 事業目的は、ソサエティ5.0時代に対応した地域や、日本の未来を主体的に担う子どもたちを育成するものです。
2. 事業内容といたしまして、本年度は、高速大容量の校内LAN及び一人一台端末を用いて学校と家庭学習への活用を継続し、ICTを日常的なものとして定着させる取り組みを行いました。学校における活用では、クラウド型の学習アプリケーションとして、小学校では東京書籍のタブレットドリルを、中学校ではリクルート社のスタディサプリを引き続き活用し、朝学習や授業の振り返りに活用しております。家庭では、一人一台の端末やモバイルルータ、予備充電器の貸与により、アプリによる宿題や、授業支援アプリケーションの導入による遠隔授業の実施環境が整いましたので、積極的に活用しております。

また、ICT教育の推進は、教職員の指導力、機材に対する理解力の向上が必須であり、ICT教育支援員が中心となり、課題解決のためのフォローを行っているほか、教職員間においても、利活用に関するノウハウの共有等の自主的な取組が進んでおり、教職員1人ひとりの指導力の向上が見られております。今後も、効果的で質の高い教育のためのICT利活用を進めてま

います。

下段から次のページにかけての写真は、各学校での取り組み状況を掲載しております。各学校でのタブレットを用いた学習の様子や、ICT支援員の職員研修状況のほか、授業配信の様子となっております。

美馬市英語教育推進事業、0歳児から中学卒業までの一貫した英語教育の実現についてでございます。

1. 事業目的は、グローバル化が進展する新しい時代に対応できる人材を育成するためとしております。
2. 事業内容として、指導要領の改定による、小学校の英語活動・教育を本市では2年早い平成30年度から実施し、外国語教育指導監が、教員の指導、助言を行ってまいりました。

市内の小学校教員は、外国人講師等との授業を組み合わせながら、自信をもって英語教育に取り組んでおります。

小学校5・6年生では、外国人講師とともに、パフォーマンステストを実施し、中学校教育を見据え、振り返りを実践的に行っています。

中学校では、ALTがICT機器を活用しながらコミュニケーション学習の強化を図るとともに、中学校卒業までの英検3級合格を目指し、受験料助成事業を行っていますが、取得率は計画が目標とする50%には達していません。

これまで、中学3年生への受験料助成事業を行ってまいりましたが、令和5年度は、中学1年生から3年生、全学年を対象に実施したいと考えております。今後も、生徒へ検定への挑戦や合格の意義を伝え、取得率の向上を図って参りたいと考えております。

認定こども園・幼稚園をはじめ、小学校も1年生から外国人講師と英語活動を行い、就学前から小中学校へ段階的な英語教育を実施しております。

また、本年度は、英語教育推進計画の策定年度でもあります。

これまでの第1次計画期間中に取り組んできた英語教育の成果と課題をふまえ、更なる充実に向け第2次計画を作成してまいります。

4ページをご覧ください。

英検受験料助成事業の今年度の状況でございますが、中学3年生193名のうち、助成者数は、108名で、生徒数に対する割合は56.0%、3級以上の合格者は、72名で、生徒数に対する割合は、37.3%で、昨年度より、生徒数に対する受験者の割合は、1.9%下回り、合格者も2.7%下回る結果となりました。

表は、事業を開始した平成30年度からの5か年の状況でございます。年度により波もありますが、引き続き学校へ事業活用の啓発と指導を行って参ります。

下段は小学生に英語が好きかというアンケートの結果となっております。すき、まあまあすきと回答した児童が7割から8割の状況でございます。英語に慣れ親しむことができている結果となっております。

続きまして5ページをお願いいたします。

子どもたちに感動を与える芸術体験事業でございます。

1. 事業目的は、本物の音楽や芸術に対する感性を育てるとともに豊かな情操を養い、たくましい人間性を培うこととしております。
2. 事業内容といたしましては、平成29年度より、全ての4歳以上の園児、児童生徒にプロの音楽家の公演を聞く事業を実施してまいりました。

記載の通り、令和2年、3年は新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となっております。本年度、令和4年度も直前でミライズホールでの鑑賞はできなくなりましたが、オペラの演者の協力を得て、DVD作品を作成し、各校で視聴する方法により、事業を実施いたしました。

写真はこれまでの実施状況を掲載させていただいたものでございます。  
次の6ページをお願いします。  
公演のDVD視聴後のアンケート結果でございます。  
よかったと答えた子どもたちは約8割でございます、ミライズホールで公演を鑑賞できなかったものの、高評価を得られました。

オペラを見たことのない児童生徒のなかには、非常に楽しみにしてくれていた子どもたちもいました。

今後は、音楽中心であった演目を、子どもたちの興味、関心をもとに、ミュージカルや、演劇、日本の伝統芸能にも広げ、芸術体験活動を推進してまいります。

次に、7ページをお願いいたします。

本年度実施した、主な市内小中学校施設管理・整備関係事業でございます。令和4年度は、主な事業として、市内の幼稚園、小中学校の天井、外壁などの劣化状況調査を行いました。また、4番にありますように、岩倉小学校の遊具、8連鉄棒を更新したほか、5番にありますように、江原中学校の空調設備の整備をおこないました。

整備の状況は次の8ページの写真のとおりでございます。

資料1の教育総務課所管分の主要事業は以上でございますが、幼小中学校の各校の教育活動を別添の資料にまとめておりますので、少し紹介いたします。

別添資料 美馬市立幼稚園、小学校、中学校令和4年度学校(園)活動をご覧ください。

始めに幼稚園の活動でございますが、1ページをご覧ください、脇町幼稚園では、外国人講師による英語活動やヴォルティス元気ッズプログラムによる運動遊びを、また、次のページでは毎日の園の様子などを掲載しております。また、3ページになりますが、木屋平幼稚園では他園との交流を行うなど、美馬市の特徴ある就学前教育を実施し、子どもたちがいろいろな体験から成長しています。

次に小学校でございますが、9ページの江原北小学校をご覧ください。

I C T教育では、理科の実験状況や、音楽での動画作成、炭づくり活動の紹介などにも挑戦し、各教科での活用を進めているほか、ペッパーを用いたプログラミング学習にも取り組んでおります。

次に12ページをお願いします。

最下段になりますが、令和4年度には、県教育委員会が取り組んでいるデュアルスクール事業に取り組みました。

10月に神戸から2名、2月に名古屋から2名、合計4名をそれぞれ2週間程度受け入れし、交流を深めることができました。

続いて、中学校でございますが、55ページの穴吹中学校をご覧ください。

穴吹中学校では、ホワイトボードミーティングを導入し、教員の研究会や、生徒相互の話し合いにも活用し取り組みを進めました。

また、次の56ページをお願いします。

新聞報道にもございましたが、「生徒心得」の見直しを、先ほどのホワイトボードミーティングも活用しながら、生徒達が主体性を持って、自分たちの学校のルールは自分たちで見直すという考えのもと、取り組みを進めました。

また、1人1台のタブレットの活用についても、生徒主体の授業づくりに取り組んだほか、英語教育についても、I C Tを活用した事業に積極的に取り組んでおります。

時間の都合上、一部の学校での取り組みの紹介となりましたが、後ほどご覧いただければと存じます。

以上で教育総務課からの説明を終わります。

続きまして、地域学習推進課所管分をご説明いたします。着座にて説明させていただきます。

資料の9ページをお願いいたします。

1. 社会教育関係でございます。

まず始めに、二十歳の集いでございます。

令和4年度美馬市二十歳の集いを、令和5年1月2日に、ミライズ市民ホールにて行いました。

本年度二十歳になられた方は、276人ございまして、その内208人の方が出席されました。

つぎに、放課後子ども教室運営事業でございます。

事業内容といたしましては、学校施設などを活動拠点とし、地域住民の参画のもと、子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進する事業でございまして、現在市内7つの小学校区と3団体のスポーツクラブで実施されており、577人の子どもたちが参加しております。

次の10ページをお願いいたします。

市立図書館運営事業でございます。

美馬市立図書館は、株式会社図書館流通センターに指定管理として委託し運営を行っております。

本年1月末までの利用状況といたしましては、開館日数241日の間に、来客数が7万6千604人ございまして、その内、本の貸出しを利用した方が1万8千400人で、貸出冊数が12万3千166冊でございます。

また、来客数が来年度の4月か5月には50万人を達成する見込みでございます。

本年度の新型コロナウイルス対策といたしましては、学びのハコの使用中止、大型空気清浄機の設置を行っております。

イベントといたしましては、藍・藍染めに関する企画展や美馬市の昔の写真を集めたものをアーカイブ化するなどの事業を実施し、徳島市在住の絵本作家の絵本原画展、講演会を開催いたしております。次の11ページ、12ページに写真を掲載しておりますように、美馬市、四国大学、穴吹高等学校、地域企業、美馬市地域おこし協力隊、ボランティア団体などと協力いたしまして、企画展やイベントを開催し、地域の歴史・文化を学ぶ機会を提供しております。

来館者数の増は、学びのハコで中高校生が増、昨年より8月の夏休み期間児童書が貸出数3400減、美馬市のコロナ数の増加している時期が原因と考えられます。

13ページをお願いいたします。

人権教育でございます。

まず、人権教育推進協議会では、令和4年3月28日に総会を開催し、規則改正・役員改選を行い、藤本会長のもと、新しい体制で活動を再開し、部落差別をはじめとするあらゆる人権問題に対して、市民が中心となり自主的な活動ができる体制を整えるものとしております。

次の人権教育指導者育成講座や、その下の人権講演会では、指導者の育成を図るため、人権教育指導者育成講座を年4回開催いたしまして、企業、各種団体などから33人の方が受講しております。

また、全国水平社の創立100周年の節目であることから、改めて部落差別について学ぶため、芝原生活文化研修所の辻本一英さんを講師に招き、人権文化を考える、福を運んだ人形まわしと題して講演と、人形まわしの実演をいたしております。

次に、人権フェスティバルについてでございます。

明後日、26日、日曜日に地域交流センターミライズで開催いたします。

当日は、地域支援活動センターまいかによる音楽発表や教育集会所事業で学んだ教室の活動成果を発表をし、25日、26日には周辺ギャラリーにて、教育集会所で人権教育の推進を目的として学ばれている、教室生の作品の他、市内の障害者施設かしがおか・まいか・小星園や識字学級、また、美馬市内児童・生徒の徳島県人権啓発ポスター入賞作品を展示いたしております。

次に、第18回美馬市文化祭でございます。

第18回美馬市文化祭を令和4年11月5日から11日までの7日間、ミライズにおいて開催いたしました。

次のページに写真を掲載しておりますように、5日の午前中に、開会式を行い、午後からは、文化講演会を開催いたしまして、講師にデヴィ・スカルノさんをお招きし、美と健康の秘訣と題しての講演を行い、約500人の方が参加し、また6日には各種団体の芸能発表や期間中には作品展示も行いました。

また、協賛事業といたしまして、9月15日から12月15日の間に文化・芸能・スポーツなどの38の行事も行いました。

文化の部18団体、スポーツの部20団体、芸能発表23団体です。

次に、2. 社会体育関係でございます。14ページ、市スポーツ協会は、加盟団体が21団体、会員数は1千67人でございます。

総合型地域スポーツクラブは5団体、スポーツ推進員32人、スポーツ少年団は12団体でございます。

社会体育施設管理といたしまして、うだつアリーナ、穴吹スポーツセンター、美馬市民グラウンド、美馬リバーサイドパークなどの施設がございます。

次の15ページをお願いいたします。

本年度は、御覧のとおり美馬リバーサイドパークに出水時に移動が可能なトイレ2棟を新設し、利用者の利便性・快適性の向上を図ることとしております。

次に、第69回徳島駅伝にいたしましては、令和5年1月3日から5日までの3日間、開催されました。本市選手団の成績は、総合成績で5位入賞果たし、中学生総合準優勝、女子総合準優勝と好成績を挙げております。

次に、3. 文化財関係でございます。

本市におきます、指定文化財といたしまして、国指定重要文化財が5件、国選定重要伝統的建造物群保存地区が1件、国登録有形文化財が28件、県指定文化財が17件、市指定文化財が59件ございます。

次に、伝統的建造物群保存対象事業でございます。

事業内容といたしましては、国選定重要伝統的建造物群保存地区内に所在する、伝統的建造物群の保存修理に係る補助を行うもので、本年度は、3件の修理事業の補助を行い、現在実施中でございます。

次の16ページをお願いいたします。

次に、埋蔵文化財関係でございます。

埋蔵文化財包蔵地内の開発行為に伴う事前調査を本年1月末時点で16件行っております。

次に、国指定史跡郡里廃寺跡整備事業でございます。

整備についての基本設計、実施設計を発注しまして、今年度は、基本設計を行いました。また、文化庁に対しましても史跡郡里廃寺跡保存活用計画書を認定申請を行いまして、事業を進めております。

次に、各種検討委員会の開催でございます。

郡里廃寺跡整備検討委員会を2月に開催いたしまして、整備基本設計の審議を行い、来年度の実施設計、工事着手に向けて協議を行っております。

藤田地域学習推進課長

また、歴史資料館整備検討委員会つきましても、整備に向け展示内容などを協議を行い事業を進めるため、3月に委員会の開催を予定しております。

最後に、日本遺産、藍のふるさと阿波魅力発信事業でございます。

令和元年5月に日本遺産に認定されました、阿波藍について、日本遺産協議会事業としてサポーター養成講座やパネル展を開催いたしております。

以上で地域学習推進課の主要事業の実施状況の説明を終わります。  
よろしくお願いたします。

議長

(加美市長)

議題(1)について、それぞれ説明がございましたが、何かご意見がございましたら、お願いたします。

(意見なし)

それでは、次に議題(2)の教育費の令和5年度当初予算(案)について事務局から説明してください。

事務局長

(吉本総務課長)

議題(2)の教育費の令和5年度当初予算(案)について副教育長から、説明させていただきます。

教育費の令和5年度当初予算(案)についてご説明いたします。

園木副教育長

資料1の17ページ及び18ページをお開き下さい。

こちらの表は、令和5年度 美馬市一般会計の当初予算案のうち、教育費の概要を記載したものでございまして、左から順に、右に向かって、予算の項と目の区分、令和5年度と4年度の予算額、予算額の比較、財源内訳、そして、右端の説明欄には、目ごとの主な事業などについて、記載を致しております。

それでは、この表に沿って、主な内容の説明をさせていただきます。

最初に、項の教育総務費でございます。

目の上段、教育委員会費の予算額は、83万5千円を計上しておりまして、内容は、記載のとおりであります。

9千円増の主な理由は学事関係職員録の値上がりによるものです。

下段の事務局費の予算額は、2億566万1千円を計上しておりまして、予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、外国語活動支援講師、外国語教育指導監1名、ICT教育支援員1名の報酬などを計上しております。

このほか、説明欄への記載はございませんが、教育長や教育総務課の職員の人件費をはじめ、学校医や学校薬剤師、ICT支援員などの人件費のほか、先程、加美市長の挨拶にございましたように、子ども達に本物に触れる機会を体験できるよう、芸術体験事業費なども計上しております。

なお、4年度の予算額と比較して、494万9千円の減額となった主な理由は、職員の人件費などです。

次に、項の小学校費でございます。

目の上段、学校管理費の予算額は、1億7千634万4千円を計上しておりまして、予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、市内小学校の管理運営費やタブレット型端末更新事業などです。

詳細といたしましては、ICT教育の環境整備として、4月に入学する児童に対して、タブレット型端末機200台を新たに更新する費用、940万5千円前年比940万5千円を、また、スライド式大型電子黒板の借上料881万3千円や、オンライン学習教材使用料229万円などです。

園木副教育長

このほか、説明欄への記載はございませんが、助教員や支援員といった会計年度任用職員の人件費4千406万7千円や、施設の屋内外照明をLED化に更新する事業や老朽化している空調施設の更新などを行う経費も計上しております。

なお、4年度の予算額と比較して、51万5千円の増額となった主な理由は、教育用サーバーの更新事業が本年度に完了いたしました。新たにタブレット型端末更新などの経費を計上したことによる、その差額や、契約内容の変更による電気使用料の増加によるものであります。

次に、下段の教育振興費の予算額は、9千36万5千円を計上しております。予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、スクールバス等運行事業や要保護及び準要保護児童 就学援助費などです。

このうち、スクールバス等運行事業では、タクシーによる遠距離児童通学輸送事業の分1千247万7千円も含めた、4千651万5千円を、また、要保護及び準要保護児童 就学援助費等では、特別支援教育就学奨励費の分214万5千円も含めた、1千833万9千円をそれぞれ計上しております。特別支援教育就学奨励事業、中学校費においても予算計上しております。

事業内容は関係法令に規定する障がいの程度に該当する児童・生徒の保護者又は特別支援学級に就学する児童・生徒の保護者に対し、国の補助金1/2を活用し、奨励金を支給しています。

このほか、説明欄への記載はございませんが、会計年度任用職員のスクール・サポート・スタッフ8人分の人件費の経費なども計上しております。

なお、4年度の予算額と比較して、862万7千円の増額となった主な理由は、遠距離児童通学輸送業務及びスクールバス運行业務の委託料の増加によるものであります。

次に、項の中学校費でございます。

目の上段、学校管理費の予算額は、1億4千963万4千円を計上しております。予算の主なものと致しましては、市内の中学校の管理運営費や教育用コンピュータ借上料などです。

詳細と致しましては、ICT教育の環境整備として、パソコン教室などに配備しているノート型パソコンなどの借上料や、生徒用のタブレット型端末の借上料として3千127万4千円を、また、スライド式大型電子黒板の借上料458万1千円やオンライン学習教材使用料286万5千円などでございます。

このほか、説明欄への記載はございませんが、助教員や支援員といった会計年度任用職員の人件費1千650万円や、施設の内照明をLED化に更新する事業や老朽化している空調施設の更新などを実施する経費なども計上しております。

なお、4年度の予算額と比較して、4千70万円の増額となった主な理由は、教育用仮想サーバーの更新に伴う費用や契約内容の変更による電気使用料の増加によるものであります。

次に、中段の教育振興費の予算額は、8千841万1千円を計上しております。予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、スクールバス等運行事業や要保護及び準要保護生徒 就学援助費及び部活動地域移行支援事業などです。

このうち、スクールバス等運行事業では、タクシーによる遠距離生徒通学輸送事業の分も含めた、2千496万3千円、要保護及び準要保護生徒就学援助費では、1千470万7千円

特別支援教育就学奨励費や、夜間中学校 就学支援費56万1千円も含めた、1千681万8千円を、計上しております。

また、先程、加美市長の挨拶にございましたように、新たに実施する部活



動地域移行支援事業として、教育委員会に配置する地域移行推進監や、総括指導者に要する人件費、及び、指導時に必要となる経費など、661万8千円を計上し、事業を進めていくこととしております。

このほか、説明欄への記載はございませんが、部活動指導員10人や、スクール・サポート・スタッフ5人といった「会計年度任用職員」の人件費なども計上しております。

なお、4年度の予算額と比較して、380万6千円の増額となった主な理由と致しましては、ただいま申し上げた、新たに、実施する部活動地域移行支援事業や、部活動指導員を7人から10人へと増員したことによるものであります。

次に、下段の外国青年招致事業費の予算額は、2千920万6千円を計上しております。予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、外国語指導助手、いわゆるALT6名分の活動経費などでありまして、

なお、4年度の予算額と比較して、97万6千円の増額となった主な理由は、経験年数に伴う報酬や、帰国に要する旅費などによるものであります。

次に、表の最下段項の、幼稚園費でございまして、目の幼稚園費の予算額は、8千777万9千円を計上しております。

説明欄に記載のとおり、予算の主なものと致しましては、脇町幼稚園と木屋平幼稚園の2園に係る管理運営費と、脇町幼稚園で実施する予定の一時預かり事業、いわゆる預かり保育事業などの経費でありまして、主に、職員の人件費でございまして、

なお、4年度の予算額と比較して、513万9千円の増額となった主な理由は、正規職員の人件費の増や老朽化している空調施設の更新によるものであります。

次に、18ページ、項の社会教育費でございます。

最初に、目の最上段、社会教育総務費の予算額は、7千238万9千円を計上しております。

説明欄に記載のとおり、予算の主なものと致しましては、小学校の児童たちの放課後対策として、実施している放課後子どもプラン事業、1千435万8千円を、また各中学校区におきまして、地域ぐるみで学校運営を支援するために、取り組んで頂いている学校支援地域本部事業、288万5千円などでありまして、

このほか、説明欄への記載はございませんが、文化祭340万円や、20歳の集い215万1千円の経費、また、地域学習推進課の一部の職員の人件費なども計上しております。

なお、4年度予算額との比較でございますが、ほぼ同額でございます。

次に、公民館費の予算額は、236万6千円を計上しております。内容は、記載のとおりでございまして、4年度の予算額と比較して、54万円の増額となった主な理由は、施設の修繕料などでありまして、

次に、図書館費の予算額は、6千203万7千円を計上しております。予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、市立図書館の光熱水費などの管理運営や、指定管理料の経費であります。

なお、4年度の予算額と比較して、721万4千円の減額となった主な理由は、現在、図書館と地域交流センターミライズの運営は、一括公募により平成30年度から5年間共同企業体として、一定の連携を図り、施設内の清掃などの管理費の一部を負担しておりましたが、5年度から、図書館のみの

管理運営をすることで、清掃費などの経費が減になったこととございます。

また、図書館のみ運営を行うことで、これまで以上の専門制やサービスの向上が図られるものと考えております。

次に、文化財保護費の予算額は、1億458万5千円を計上しておりまして、予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、文化財、これは、青木家、三木家、郡里廃寺跡、段の塚穴などの文化財でありまして、文化財の管理運営や、郡里廃寺跡環境整備事業の経費などでありまして。

このうち、郡里廃寺跡環境整備事業につきましては、加美市長の挨拶にございましたように、5年度は、7月に作成できる、実施設計を基に、区域内にある支障物件の撤去や敷地内の盛土などの造成費として、8千836万4千円、電柱などの物件移転費として、164万7千円を、それぞれ計上し順次、事業を進めて行く予定とございます。

なお、4年度の予算額と比較して、8千668万円の増額となった主な理由は、ただいま申し上げた、郡里廃寺跡環境整備事業に係るものであります。

次に、重要伝統的建造物群保存対策事業費、資料には短くして重伝建保存対策費と記載してありまして、予算額は、1千585万6千円を計上してあります。

予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、うだつの町並み建造物保存事業の経費を計上しておりまして、2件の保存修理に係る助成金、1千150万円と、台風などの風水害で被害があった、8件の修理に係る助成金380万1千円などを計上してあります。

なお、4年度の予算額と比較して、44万9千円の増額となった主な理由は、台風などの建造物被害に要する修理件数が増えたことに、よるものであります。

次に、教育集会所事業費の予算額は、275万3千円を計上しておりまして、予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、教育集会所の管理運営経費であります。

なお、4年度の予算額と比較して、132万3千円の減額となった主な理由は、施設の修繕や、備品購入が4年度に完了したことによるものとございます。

次に、人権教育費の予算額は、442万5千円を計上しておりまして、予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、人権教育・識字学級交流事業の経費などがございます。

このほか、説明欄への記載はございませんが、美馬市人権教育推進協議会でございますが、新たに役員を改選し、新会長の下、活動を再開したことから、協議会に対し、活動経費の補助金として、300万円を計上してあります。

なお、4年度予算額との比較でございますが、ほぼ同額であります。次に、青少年育成センター費の予算額は、760万5千円を計上しておりまして、内容は、記載のとおりでございますが、4年度予算額との比較でございますが、ほぼ同額であります。

次に、項の保健体育費でございます。

最初に、目の上段保健体育総務費の予算額は、3千195万8千円を計上してあります。

予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、各種スポーツ振興事業などの経費でございまして、地域学習推進課の一部の職員の人件費の

ほか、市のスポーツ協会、スポーツ少年団、徳島駅伝の選手育成事業などに対する補助金として、892万円を計上しております。

なお、3年度の予算額と比較して、41万5千円の増額となった主な理由は、職員の人件費や補助金によるものであります。

次に、中段の体育施設費の予算額は、2億709万5千円を計上しております。

予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、体育施設管理運営事業、これは、うだつアリーナを含む都市公園や、美馬リバーサイドパークの指定管理料が主でございます。その経費として、3千619万2千円を、そして、岩倉国民体育館解体事業として、老朽化に伴い本年度行った解体・撤去の設計を基に積算した、事業費として、9千455万5千円、監理委託450万円、解体・撤去工事9千5万5千円を、また、美馬リバーサイドパーク整備事業として、国土交通省が敷地内にある竹林を利活用できるようにと、伐採して頂いた跡地を、多目的広場として整備する経費として、5千209万3千円、設計委託259万4千円、整備工事4千446万2千円、備品購入503万7千円などをそれぞれ計上しております。

また、先程、担当課から主要事業の実施状況の中でも、説明がございましたが、昨年9月から着手しておりました、美馬リバーサイドパークのトイレ新設工事でございますが、今月、2月3日に竣工いたしまして、来月には、施設を訪れる皆様が、快適にご利用頂けるよう、現在、申請などの手続きを行っております。

なお、4年度の予算額と比較して、1億1千426万3千円の増額となった主な理由は、ただ今申し上げた、岩倉国民体育館解体事業及び美馬リバーサイドパーク整備事業に係る経費などでありまして。

最後に、学校給食費でございます。予算額は、13億799万2千円を計上しております。

予算の主なものと致しましては、説明欄に記載のとおり、学校給食センターの管理運営事業として、3つの共同調理場及び、穴吹学校給食センター合計4つの施設での、管理運営費や人件費として、9千486万円を、また、加美市長の挨拶にもございましたように、9月から供用が開始する美馬市学校給食センターの運営に係る経費や施設の維持管理費などとして、2億4千748万2千円を、そして、現在、7月末の完成に向け、美来創生局において整備を進めている、事業費として、9億6千565万円をそれぞれ計上しております。

なお、4年度の予算額と比較して、5億2千574万3千円と、大幅な増額となった主な理由は、ただ今申し上げた美馬市学校給食センターの整備や運用に係るものでございます。

教育費の総額と致しましては、表の最下段の計のとおり、5年度の予算額は、26億4千729万6千円であります。

この額は、前年度の予算額と比べて、約41.4パーセント増の、7億7千453万7千円の増額となっております。

以上、簡単ではございますが、令和5年度当初予算（案）の説明とさせていただきます。

よろしくお願ひ致します。

議長  
(加美市長)

議第(2)、教育費の令和5年度当初予算(案)について御質問や御意見がございましたら、お願いいたします。

(意見なし)

それでは、議題（２）の教育費の令和５年度当初予算（案）につきましては、今月２１日に開会しました令和５年３月美馬市議会定例会に提案し、議会の審議を頂いておりますので、よろしくお願い申し上げます。

最後に、議第（３）その他の件について、何か委員の皆さんからございましたら、お願いいたします。

上田委員

少し時間をいただいて、このごろ思っていることなどを述べさせていただきたいと存じます。

後一月ほどで本年度を終えようとしています。この１年も厳しいコロナ禍にありましたが、今日の資料にもありましたように、幼稚園小中学校では、子ども達が生き生きと元気に学習し活動する姿が見られています。

特に、ＩＣＴ教育では、子ども達に配布されたタブレットがフル活用され、デジタル教科書や電子黒板などとともに、今や学習のためになくはない物となっています。プログラミング教育もぐんと進んでおります。しかも、ＩＣＴ支援員等がいてくれることで先生方もとても助かっているようです。

様々な教育活動充実のための方策だけでなく施設設備についても他面にわたって、整備していただいております。感謝いたしております。

次年度は、中学校部活動の地城移行が進められるので、子ども達がやりたいと思う部活で頑張ってくれるようになるのではないのでしょうか。

新しい給食センターも９月には業務を開始し、安心安全で美味しい給食が提供されることだと思います。

次年度の予算案を拝見いたしましても、学校教育・社会教育ともにその目標の達成に向けて取り組めるよう、お考えいただいておりますことに深く感謝しお礼申し上げます。

子ども達が美馬市で育って良かったと思ってくれる教育の実現のためにどうか今後ともよろしくお願い申し上げます。

議長  
(加美市長)

ありがとうございました。しっかりと御意見に添えるよう尽力して参りたいと思います。

その他、御意見、ございませんか。

(意見なし)

他に御意見がなければ、以上をもちまして総合教育会議を閉会させていただきます。慎重な御審議を賜りまして、ありがとうございました。

吉田企画総務部長

委員の皆様におかれましては終始熱心にご審議いただき誠にありがとうございました。

以上をもちまして令和４年度美馬市総合教育会議を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

(午後２時２０分終了)







\_\_\_\_\_